

「障害者の生活・介護等に関する実態調査」の結果がまとまりました

1 調査方法の特徴

- ① 身体障害、知的障害、精神障害、発達障害及び高次脳機能障害の全障害者を対象に、約 30,000 件（回答数約 12,000 件、回収率約 40%）と、全国的にも類を見ない大規模な調査

【参考】平成 20 年度障害者施策総合調査（内閣府）

- ・全国の障害（障害は全種別対象）のある人及び保護者等 4,936 人を対象
 - ・有効回収数：1,427 通、有効回収率：28.9%
- ② アンケート調査とインタビュー調査を併用
 - ③ 障害福祉サービス事業所及びその職員並びに医療機関に対しても調査を実施

2 調査結果の特徴

（1）生活に関して

ほぼ半数の人が「生活するのにぎりぎりの収入/生活費が不足」と回答するなど、生活が厳しい人の多いことがわかりました。また、収入源も、多くの障害者は家族の収入に頼っている傾向が見られました。経済的に苦しいことから生活に不満を感じる人が多い、収入面で将来に不安を感じるなど、さまざまな経済的な問題が浮き彫りになっています。

- ・世帯の年間収入（52P）：「100 万円未満」（20.9%）
- ・世帯の暮らし向き（56P）：「生活できる収入はあるが、それほど余裕はない」（37.0%）

（2）就労に関して

就労に関しては、「自分のペースで好きな仕事ができるなら働きたい」という人の割合が高く、障害者就労を進めるために必要なことについての質問では、障害者就労に対する理解に関する回答が高く、障害者と企業等とのマッチングが重要であると考えられます。（98P、101P）

- ・「自分のペースで好きな仕事ができるなら働きたい」（32.7%）
- ・障害者就労を進めるために必要なこと
 - 「職場の上司や同僚に障害の理解があること」（43.3%）
 - 「職場に障害の理解をして仕事を教えてくれる人がいること」（37.3%）
 - 「勤務場所に障害のある人のことを考慮した設備等が整っていること」（35.6%）

(3) 将来に対する不安

収入に関することや自分を支えてくれている人がいなくなったりするのではないかとといった不安、あるいは漠然とした不安を抱えている人の割合も高くなっています。

- ・「生活に必要な収入が将来も得られるかどうか」(53.0%) (139P)
- ・「はっきりとしないが何となく将来が不安である」(37.1%)

(4) 障害種別ごとの特徴

① 身体障害のある人(65歳未満)は、交通機関などを利用して遠方まで外出が可能な方の割合が高い一方で、外出先の公共施設がバリアフリーになっていないことで困っている方の割合が高くなっています。

- ・「交通機関などを利用して遠方まで外出が可能」(62P) : (52.9%)
- ・外出で困ること(70P) : 「道路に段差が多いなど、バリアフリーになっていない」(17.3%)
「外出先の建物がバリアフリーになっていない」(14.2%)

② 知的障害のある人は、家族の支えが大きい一方で、本人が自立を望む傾向も高い傾向が伺えます。(40～41P)

- ・同居家族(入居・入所施設以外) : 母親(84.0%)、父親(73.1%)、兄弟姉妹(52.7%)
- ・将来暮らしたい場所 : 「グループホーム・ケアホームに入居したい」(15.8%)

③ 精神障害のある人は、人や地域との関わりが希薄な一方、医療機関との関わりが非常に強いことがわかりました。

- ・「近所づきあいを殆どしていない」(32.8% : 74P)、
- ・地域の行事に「参加したことがない」(52.3% : 76P)
- ・外出する理由・目的(68P) : 「病院に行く」(59.4%)
- ・困ったときの相談相手(106P) : 「かかりつけ医」(41.5%)

「障害者の生活・介護等に関する実態調査」について

調査目的

今後の奈良県の障害福祉施策を検討する上での基礎資料にするとともに、「奈良県障害者長期計画 2005」及び「奈良県障害福祉計画」の見直しに際して、障害のある人の課題やニーズを把握するため本調査を実施しました。

調査概要

- 調査方法
 - ・調査票によるアンケート調査
 - ・グループインタビュー形式による対面聞き取り調査

- 対象者及び対象者数等

(1) アンケート調査

- ①身体・知的・精神の各障害手帳所持者及び発達障害者並びに高次脳機能障害者

アンケート調査数				
障害種別	発送数	合計	回収数	回収率
身体障害者	18,944	30,312	12,188	43.3%
知的障害者	7,820			
精神障害者	3,050			
発達障害者	443			
高次脳機能障害者	55			

②障害福祉サービス事業所及び職員

	発送数	未達数	回収数	回収率
事業所	608	7	273	45.4%
職員	3,040	35	915	30.4%

③医療機関

	発送数	未達数	回収数	回収率
医療機関	100	0	35	35.0%

(2) インタビュー調査（詳細な別添資料をご覧ください）

- ・障害のある人とその家族 242人
- ・障害福祉サービス事業所の職員インタビュー 47事業所

- 調査期間
 - ・アンケート調査 平成21年 8月～12月
 - ・インタビュー調査 平成21年10月～12月

主な調査内容

- 障害者とその家族
 - ・住まいや就労・収入の状況、・日中の居場所や過ごし方、楽しみや生きがい 等
- 障害福祉サービス事業所とその職員
 - ・事業所の経営や職員の確保、・職員の勤務年数、勤務体制や収入、やりがい 等
- 医療機関
 - ・障害の児・者への医療の関わり 等

調査結果

- 障害福祉課ホームページ及び県政情報コーナー、県民お役立ち情報コーナーにおいて公開します。